

## NY マーケットレポート (2016年1月12日)

NY 市場では、原油価格や欧米の株価が上昇する動きとなったことから、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。その後、原油価格が急落となり、2003年12月以来の安値となる29.93ドルまで下落したことを受けて、株価も一段の下げとなり、投資家のリスク回避の動きが強まったことから、安全資産とされる円を買う動きが優勢となった。ただ、その後は再び株価が堅調な動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤には値を戻す動きとなった。

### 2016/1/12 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.40	118.03	117.24
EUR/JPY	127.89	127.97	127.64
GBP/JPY	170.50	171.70	170.20
AUD/JPY	81.52	82.63	81.51
EUR/USD	1.0893	1.0900	1.0842

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.91	117.27
EUR/JPY	128.01	127.69
GBP/JPY	171.13	169.63
AUD/JPY	82.56	81.39
EUR/USD	1.0901	1.0837

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17218.96	-479.00
ハンセン指数	19711.76	-176.74
上海総合	3022.86	+6.16
韓国総合指数	1890.86	-3.98
豪ASX200	4925.13	-7.10
インドSENSEX指数	24682.03	-143.01
シンガポールST指数	2691.78	-17.07

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5929.24	+57.41
仏CAC40	4378.75	+66.01
独DAX	9985.43	+160.36
ST欧州600	343.22	+2.99
西IBEX35指数	8915.40	+29.30
伊FTSE MIB指数	19970.10	+213.96
南ア全株指数	48396.18	+73.50

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.75	118.08	117.40
EUR/JPY	127.80	127.89	127.46
GBP/JPY	170.10	170.35	169.18
AUD/JPY	82.26	82.78	81.90
NZD/JPY	77.00	77.34	76.69
EUR/USD	1.0856	1.0879	1.0821
AUD/USD	0.6988	0.7022	0.6963

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16516.22	+117.65
S&P500	1938.68	+15.01
NASDAQ	4685.92	+47.93
日経225 (CME)	17390	0
🇨🇦 トロント総合	12373.90	+54.65
🇧🇷 ボルサ指数	41022.74	+315.85
🇨🇦 ポベスバ指数	39513.83	-436.66

#### 1/13 経済指標スケジュール

08:00	【ニュージーランド】12月QV住宅価格
08:50	【日本】12月マネーストックM3
11:00	【中国】12月貿易収支
13:30	【日本】12月企業倒産件数
16:00	【スウェーデン】12月PES失業率
16:45	【フランス】11月経常収支
16:45	【フランス】12月消費者物価指数
19:00	【欧州】11月鉱工業生産
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】11月経常収支
22:00	【ポーランド】11月貿易収支
22:30	【カナダ】12月住宅価格指数
04:00	【米国】米地区連銀経済報告[ページブック]
04:00	【米国】12月財政収支

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1085.20	-11.00
NY 原油	30.44	-0.97
CMEコーン	356.75	+5.00
CBOT 大豆	874.50	+13.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.92%	0.93%
3年債	1.16%	1.18%
5年債	1.55%	1.59%
7年債	1.88%	1.94%
10年債	2.11%	2.17%
30年債	2.89%	2.97%

#### 1/13 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年債入札
- ・ボストン連銀総裁 講演
- ・シカゴ連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

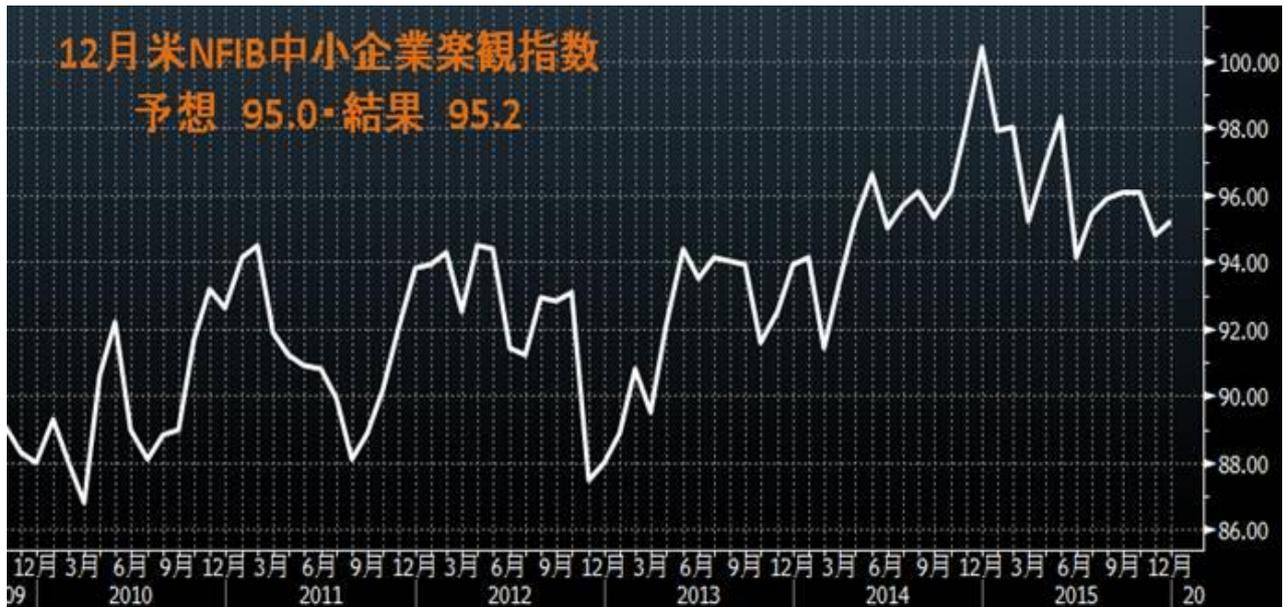
## NY 市場レポート

欧州タイム

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米NFIB中小企業楽観指数 95.2 (予想 95.0・前回 94.8)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

◀NFIB 中小企業楽観指数▶

12月・・11月・・10月・・9月・・8月・・7月  
中小企業楽観指数・・95.2・・94.8・・96.1・・96.1・・95.9・・95.4

20 : 40

◀ 要人発言 ▶

黒田日銀総裁～講演要旨

- ・「問題が物価である以上その役割を果たすのは中央銀行だ」
- ・「2%物価目標の達成に向けた取り組みは依然として道半ば」
- ・「人々に染み付いたデフレマインドを転換することは簡単でない」
- ・「われわれは物価目標を実現するための強い決意を持っている」
- ・「量的・質的金融緩和は所期の効果を発揮している」
- ・「物価の基調は着実に改善している」

22:00

ドル/円 117.90 ユーロ/円 127.81 ユーロ/ドル 1.0844

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5971.89	+100.06	ダウ 先物ミニ	16444	+157
仏 CAC40	4414.93	+102.19	S&P 500 ミニ	1933.75	+19.50
独 DAX	10061.78	+236.71	NASDAQ 100 ミニ	4322.25	+49.25

(出所: SBILM)

#### 《ポイント》

サウジアラビアの通貨リヤルは、1年物フォワード市場でドルに対して最安値を更新。原油安を背景に、サウジがドルペッグ制度を放棄、または緩めるとの懸念が高まっている。1年物のドル/リヤルフォワードは一時1037ポイントまで上昇し、節目となる1000ポイントを突破。また、産油国の債務保証コストも軒並み上昇し、サウジの5年物CDS（クレジット・デフォルト・スワップ）は7bp上昇の196bpと、先週つけた6年半ぶりの高水準に並んでいる。



(出所: ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16513.28	+114.71
ナスダック	4684.79	+46.80

(出所 : SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 47.3 (予想 47.5・前回 47.2)

指標結果データ

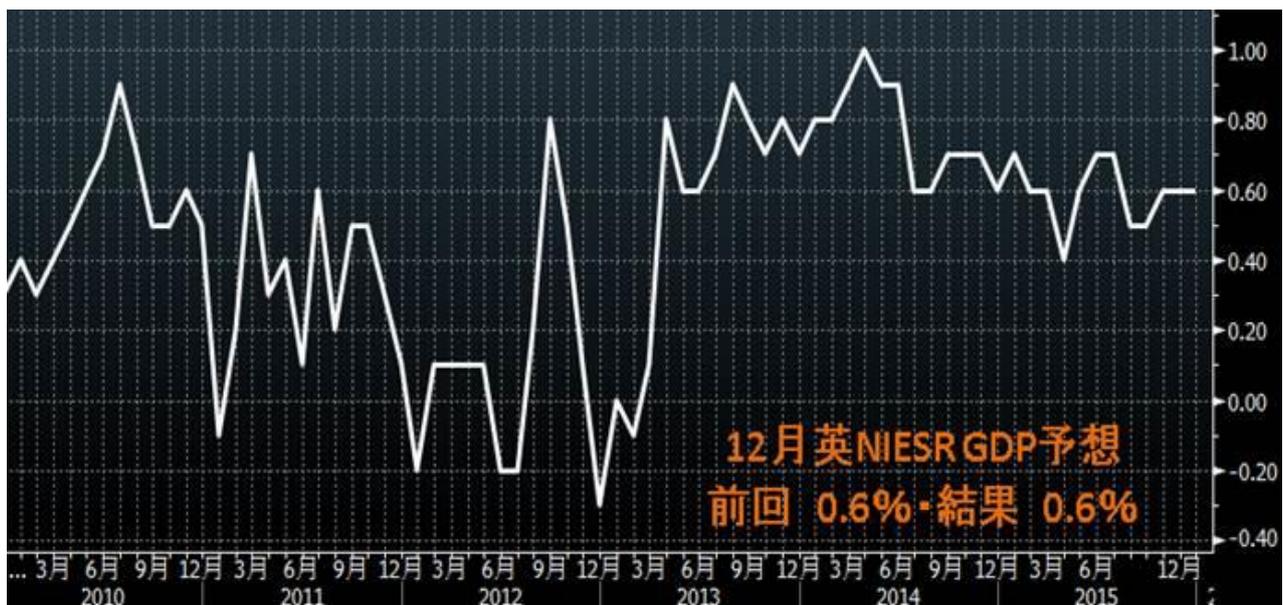
◀ IBD/TIPP 景気楽観指数 ▶

1 月・・12 月・・11 月・・10 月・・9 月・・8 月  
 景気楽観指数・・・47.3・・47.2・・45.5・・47.3・・42.0・・46.9  
 半年先の景気先行・・42.9・・41.8・・41.5・・43.5・・36.7・・42.7  
 資金繰り見通し・・58.2・・59.6・・56.5・・56.8・・53.0・・58.0  
 政府の政策信頼度・・40.7・・40.1・・38.4・・41.5・・36.2・・39.9

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月英 NIESR GDP 予想 0.6% (前回 0.6%)



(出所 : ブルームバーグ)

0 : 01

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米 JOLT 労働調査[求人件数] 543.1 万件 (予想 545.0 万件・前回 534.9 万件)  
 前回発表の 538.3 万件から 534.9 万件に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ JOLT 労働調査 ▶

11月・・・10月・・・9月・・・8月・・・7月・・・6月・・・5月  
 求人件数・・・543.1・・・534.9・・・553.4・・・537.7・・・566.8・・・532.3・・・535.7

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、上海株が反発したことや、原油相場が一時持ち直したことを受けて、投資家心理がやや改善し、主要株価は軒並み堅調な動きとなった。ただ、その後は上げ幅を縮小する動きが続いている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時 192 ドル高まで上昇したものの、その後は 70 ドル高近辺まで上げ幅を縮小している。

◀ 要人発言 ▶

ラガルド IMF 専務理事～パリで開催された会議で発言

- ・「FOMC と ECB、日銀との間の政策かい離が続けば、ドルはさらに上昇する可能性がある」
- ・「ユーロ圏と日本は弱い成長と低いインフレのために緩和継続を必要としている」
- ・「米国では経済活動の活発化で米金融当局による政策正常化の基盤が整った。初回利上げはスムーズに実行された」
- ・「明確な意思伝達が行われ、金融市場に織り込まれた」
- ・「賃金もしくは物価圧力の上昇傾向が明確に示唆されていることから、FOMC が強調するように緩やかなペースであるべきだとの見方にわれわれも同意する」
- ・「米金融引き締めと同時にユーロ圏と日本の追加緩和が進行した場合、ドルは一段と上昇する可能性がある」

## ◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 1月の米 IBD/TIPP 経済楽観指数は、47.3 と前月から 0.1 ポイント上昇し、3 ヶ月ぶりの高水準となったが、市場予想の 47.5 を下回ったことや、節目の 50 を 9 ヶ月連続で下回る結果となった。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50 を上回ると楽観的と判断する。構成指数では、半年先の景気が 42.9 (前月 41.8)、連邦政府の政策信頼度が 40.7 (40.1) と前月から改善したものの、資金繰り見通しは 58.2 (59.6) と低下した。

(2) NAR (全米不動産業者協会) が発表した 1 月の中古住宅販売見通しによると、2016 年の販売件数は前年比+1.5% の 534 万件となった。2017 年は 3.9% の 555 万件を予想した。中古住宅の中間販売価格は、2016 年が前年比+5.8% の 23.4 万ドル、2017 年は+4.1% の 24 万 3500 ドルとした。

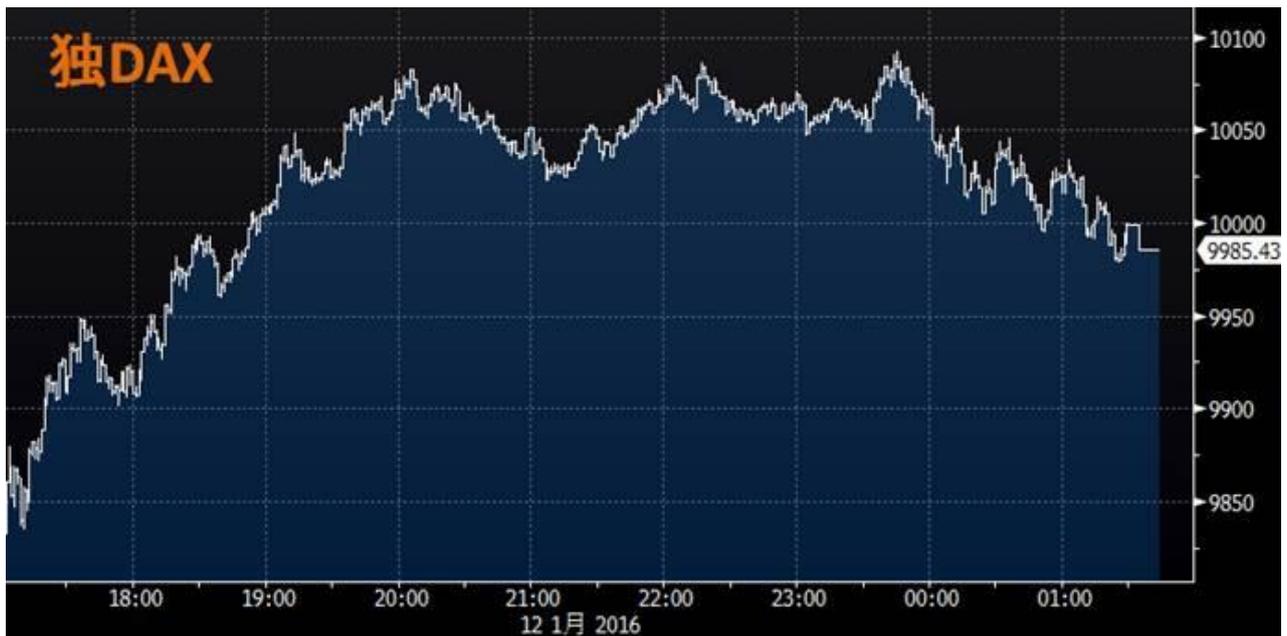
(3) 11 月の米求人件数は、前月比+8.2 万件の 543 万件となり、市場予想の 545 万件を下回る結果となった。11 月に新たに雇用された労働者は 520 万人 (前月 517 万人) と増加し、全雇用者に占める新規雇用者の比率は 3.6% と、前月から横ばいだった。自発的離職者は約 283 万人 (前月 278 万人)、離職率は 2% で前月と変わらず。これは、前回リセッションに突入した 2007 年末時点と同水準。解雇者は 169 万人 (前月 170 万人) と減少した。11 月までの 1 年間に新規に雇用された労働者は 6120 万人、離職者数が 5860 万人で、差し引き 260 万人の雇用純増となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5929.24	+57.41
仏 CAC40	4378.75	+66.01
独 DAX	9985.43	+160.36
ストック欧州 600 指数	343.22	+2.99
ユーロファースト 300 指数	1349.16	+14.05
スペイン IBEX35 指数	8915.40	+29.30
イタリア FTSE MIB 指数	19970.10	+213.96
南ア アフリカ全株指数	48396.18	+73.50

(出所: SBILM)

## ◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、中国の上海株が小幅高で引けたことで買い安心感が広がったことや、最近の下落による割安感から主要株価は堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 16420.45 (+21.88)、S&P500 1926.02 (+2.35) ナスダック 4665.20 (+27.21)

#### 《欧州のポイント》

- ①2015年のドイツの財政黒字は110億-120億ユーロとなり、黒字額は予想の61億ユーロを大幅に上回る見込みとなった。独与党関係者が明らかにした。独政府は、13日に昨年の財政収支を公表する。
- ②フランスで1月6日から始まった6週間におよぶ冬物セールは、当初5日間の小売売上高が15%増加し、まずまずの滑り出しとなっている。異例の暖冬やパリ同時テロを受けた安全への懸念で、年末には消費を手控える傾向が出ていたが、大幅な値引き作戦が奏功している。
- ③オルセン・ノルウェー中銀総裁は、景気下支えに向けて追加利下げを行う可能性があるとした。現在政策金利は0.75%。中銀は12月、次回3月の会合で利下げを行う可能性が高いとの認識を示していた。総裁はノルウェー紙とのインタビューで「われわれの一番の責務はインフレと関連している。利下げを行ったが、一段の利下げも可能だ。インフレ率は数年以内に目標に近づく見通しだ」と述べた。

#### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、原油相場下落を背景に投資家のリスク回避志向が強まり、長期債を中心に安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きが広がった。また、上海株が下げ止まり、欧州株も堅調だったことが米国債の売りを誘ったほか、米3年物国債入札を前にポジション調整の売りが出る場面もあった。

午前の利回りは、30年債が2.93%（前日2.97%）、10年債が2.14%（2.17%）、7年債が1.91%（1.94%）、5年債が1.57%（1.59%）、3年債が1.19%（1.19%）、2年債が0.94%（0.93%）。

3 : 00

＜米財務省 3 年債入札＞

最高落札利回り・・・1.174%（前回 1.255%）  
 最低落札利回り・・・0.888%（前回 1.100%）  
 最高利回り落札比率・・・37.80%（前回 48.33%）  
 応札倍率・・・2.94 倍（前回 3.14 倍）

4 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 11.00 ドル安の 1 オンス=1085.20 ドルで取引を終了した。

5 : 45

NY 原油は、中心限月が前日比 0.97 ドル安の 1 バレル=30.44 ドルで取引を終了した。

5 : 50

＜ 要人発言 ＞

ラッカー・リッチモンド連銀～講演後に聴衆の質問に回答

- ・「FRB は 2016 年に少なくとも 4 度の利上げが必要な見通し」
- ・「現在インフレ圧力の兆候ない」
- ・「われわれが金利で後手に回っていないよう望む」
- ・「中国経済は依然として急速に拡大」
- ・「米国株は 15 年に中国株安に過度に反応」

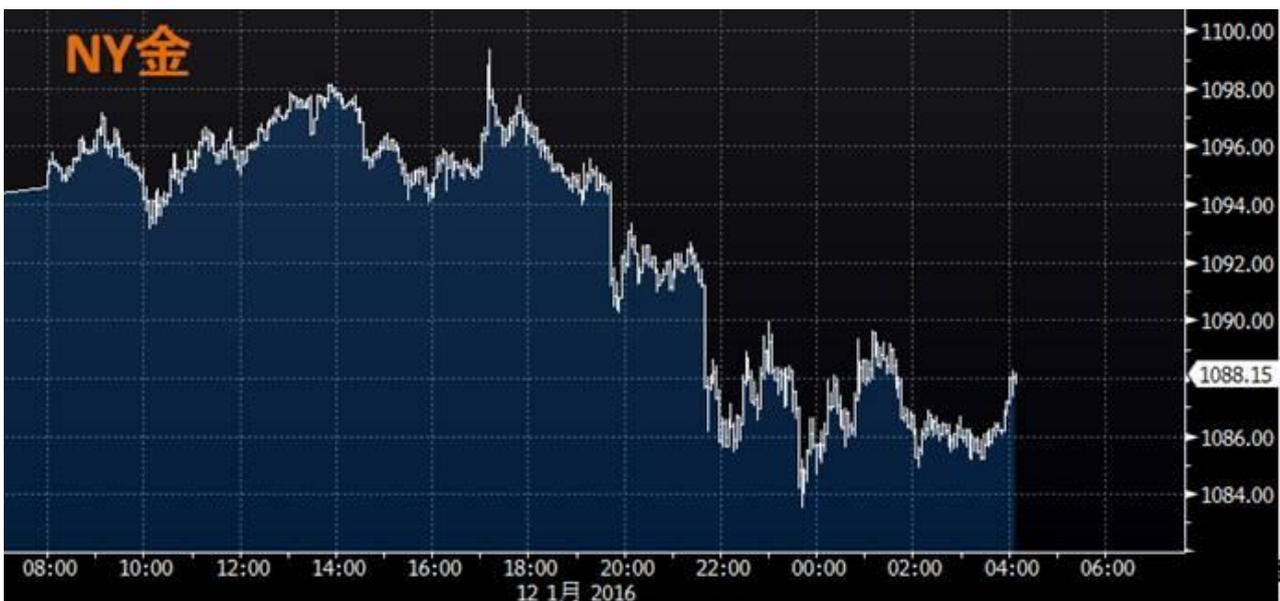
\*総裁の講演は 8 日とほぼ同じ内容

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1085.20	-11.00
NY 原油	30.44	-0.97

(出所：SBILM)

＜ NY 金市場 ＞

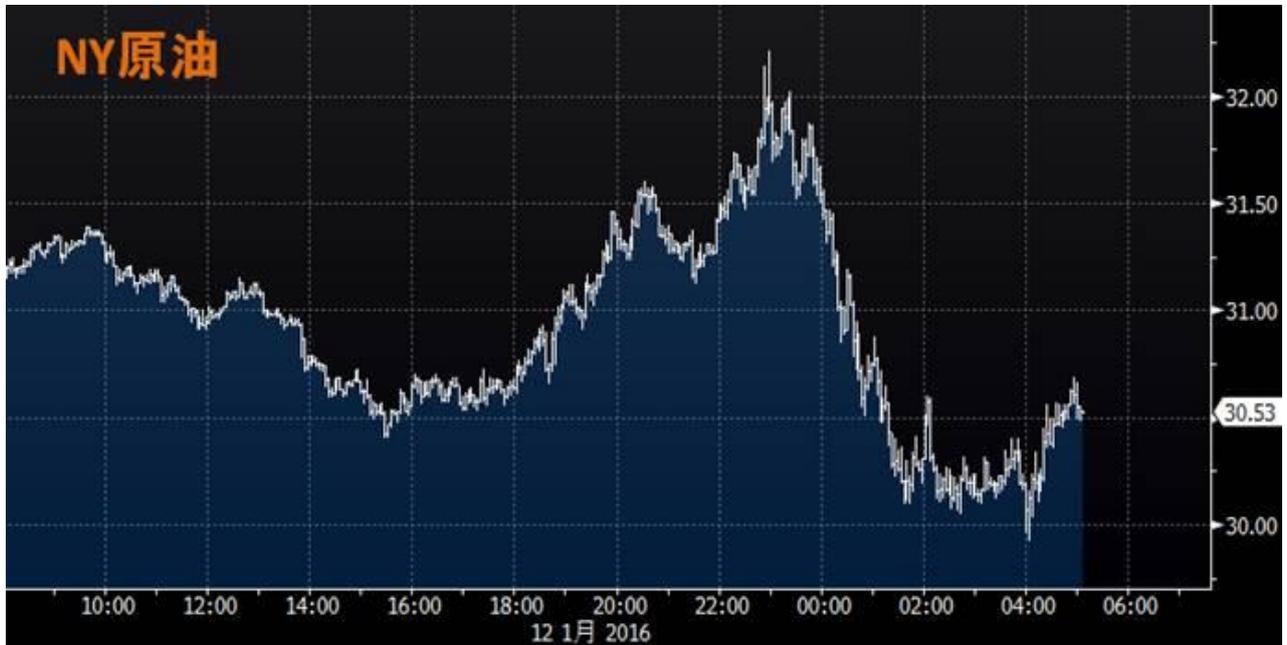
NY 金は、ドルがユーロなどに対して上昇したのにつれて、ドルの代替資産とされる金の売りが広がった。また、中国株の下落が一服し、欧州株が上昇したため、比較的安全な資産としての需要も後退した。



(出所：ブルームバーグ)

## ◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、前日の大幅安を受けて序盤は買いが先行した。しかし、世界的な供給過剰懸念に加え、中国の景気先行き不安を背景とした需要減退に対する警戒感から売りが優勢となり、一時 29.93 まで下落し、2003 年 12 月以来となる安値を更新した。



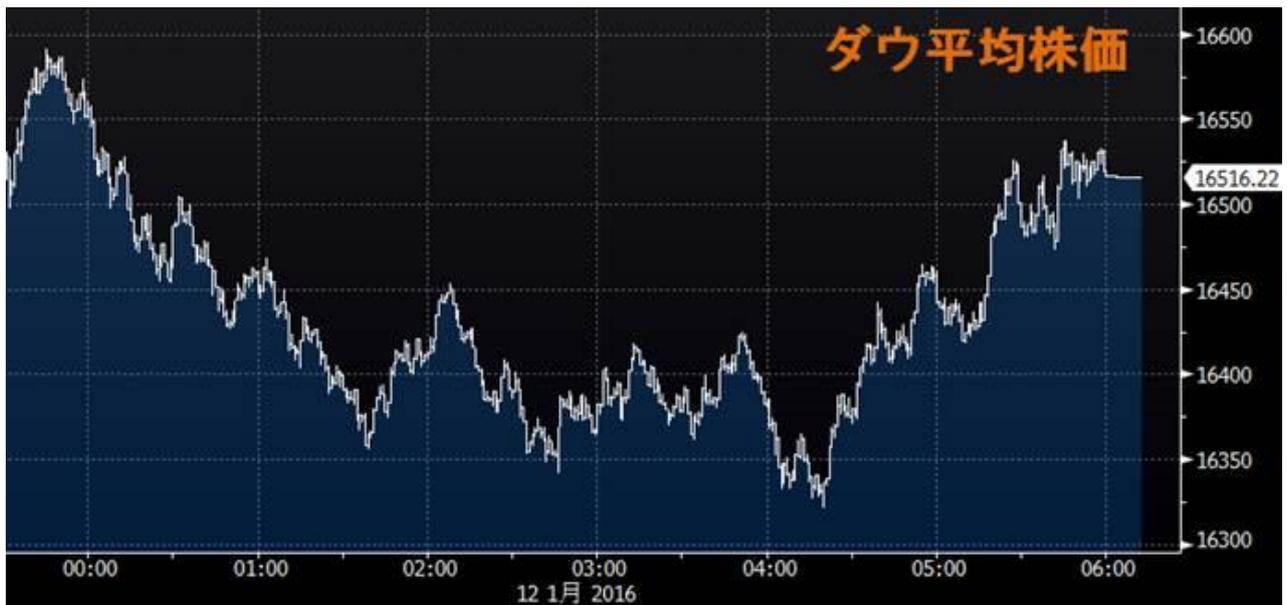
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16516.22	+117.65	16591.35	16322.07
S&P500 種	1938.68	+15.01	1947.38	1914.35
ナスダック	4685.92	+47.93	4714.80	4618.03

(出所：SBILM)

## ◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、上海株が反発したことや、原油相場が一時持ち直したことを受けて、投資家心理がやや改善し、主要株価は軒並み堅調な動きとなった。ただ、その後は、原油価格の下落を受けて、マイナス圏まで下落する動きとなったが、終盤には再び堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時 192 ドル高まで上昇したものの、その後は 76 ドル安まで下落したが、終盤には再び堅調な動きとなった。



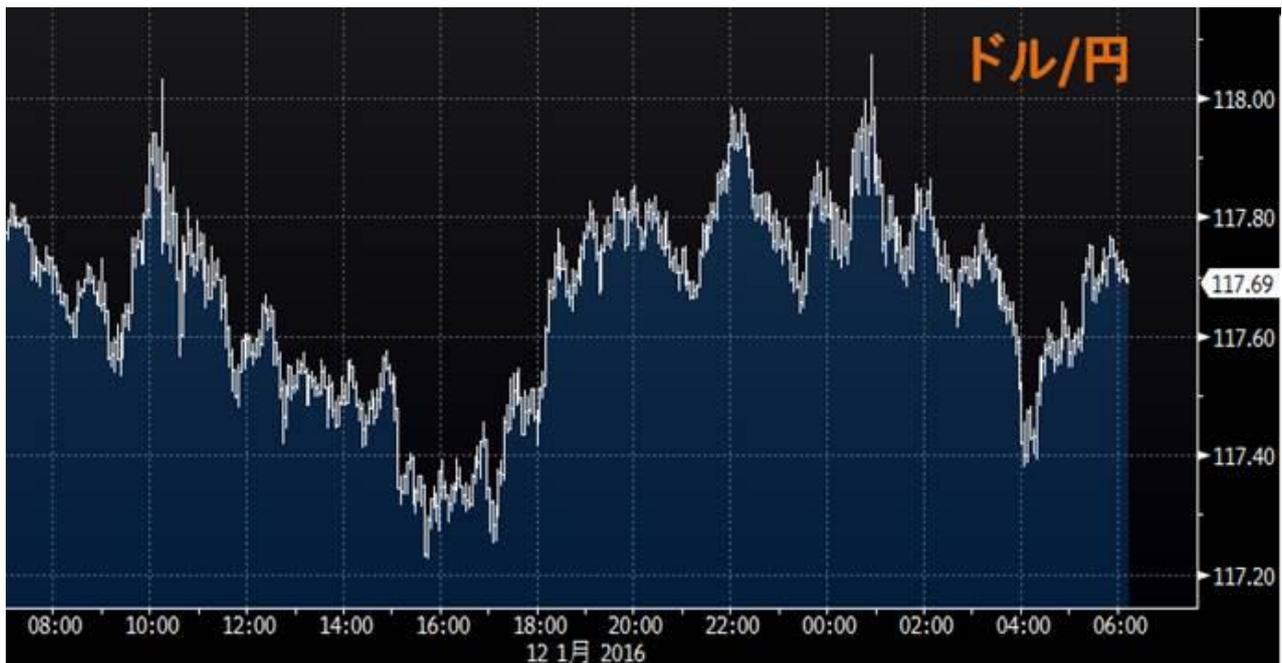
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.75	118.08	117.40
EUR/JPY	127.80	127.89	127.46
GBP/JPY	170.10	170.35	169.18
AUD/JPY	82.26	82.78	81.90
NZD/JPY	77.00	77.34	76.69
EUR/USD	1.0856	1.0879	1.0821
AUD/USD	0.6988	0.7022	0.6963

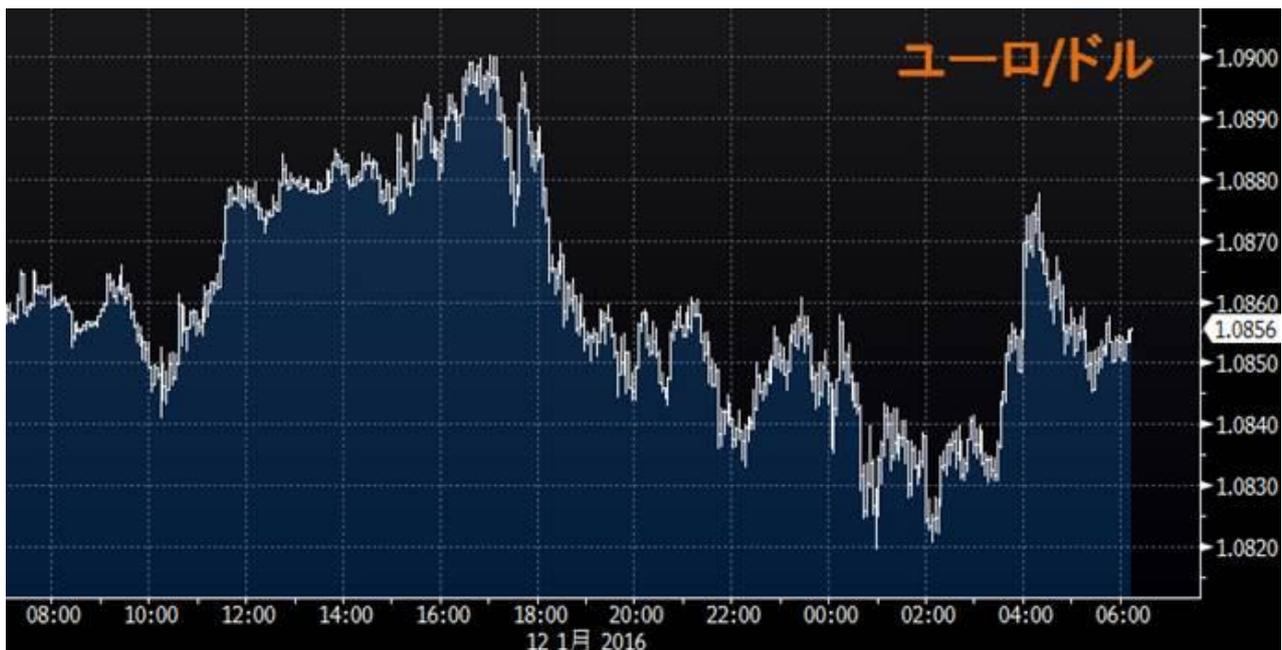
(出所：SBILM)

#### 《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は堅調な株価動向を受けて、底固い動きも見られたが、原油価格の急落を受けて、株価も下落に転じ、ドル円・クロス円も軟調な動きとなった。ただ、終盤には株価が再び堅調な動きとなったことからドル円・クロス円も、堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。